

発達保障学校

“入門の入門コースって？！”

中堅のみなさん、管理職のみなさん
こんなことで悩んでいませんか？

若手がぶつかっている壁は、
発達を学べばヒントが見つかるんだけど…、



若手のみなさんは、
ちょっとつまづいていませんか…？

〇〇さんとうまく
話せないなあ。



若手職員さんが、目の前のことでいっぱいになっている。

「そのいっぱいになっていることに意味があるんだよ。」

「その悩みは、発達論的に読み解けばヒントが見えてくるんだよ。」

そんなことを伝えられる、入門の入門ともいえるコースを開設します！

「ここへ行ったらヒントに出会えるよ！」

* この仕事について3年までの方を対象としています。

このコースは、グループワーク形式での「わかちあい」と、講義をミックスして、より、ひとり一人の悩みや思いに寄り添った形で進めていきます。

<各回の企画内容>

第1回 6月 2コマ

グループワーク① 自己紹介、問題意識、困っていることの「わかちあい」

講義① 「発達を学ぶって？」

講義② 「発達の理解を相談実践に生かすって？」

グループワーク② 「講義をみんなで理解しよう。」「わからないことは共有しよう」

「私は、明日からこんなことしてみよう」

ひとりの悩みは
みんなの悩み。
私だけじゃなかつたんだ！

第2回 9月 1コマ

グループワーク③

第1回で「これをやってみよう！」と考えたことをやってみてどうだったのか報告、

失敗もOK。うまくいかなかったことやわからないことの「わかちあい」

ミニ講義

第1回の皆さんの声をもとに、内容を考えてミニ講義をします。

ランチタイム：終了後、希望者の方は、ランチをしながら、おしゃべりをしましょう。個別相談もOK。

第3回 2コマ

12月は、まとめのグループワークと講義をします！内容は皆さんの希望にあわせて！

みんなで悩んで、みんなでしゃべって、悩みも元氣もわかちあって、

明日から Let' s go!

昨年参加者の感想をぜひ読んでください。(裏)

<参加者の声>

最初は、上司に言われて、“いややな〜”って思いながら来てた。でも、発達を学んで、こういうことかとわかって、おもしろいと感じた。

ここは、わからないことを、“わからない”って言える場だった。わからなくていいんだ。みんなわからないんだ。それでいいんだ。って思えた。

3年目までの参加者の集まりで、違う職場でも似たようなこと悩んだり、考えたりしてるってわかった。

来る前は、“私、保育士に向いてないのかも…”って悩んでいた。でも、ここで、みんなと学んで、“いま、できなくてもいいか。やろうとはしてるんだから”と自分にやさしくなれた。

いろんな職種の人と話せた。ここに来なければ経験できないことだった。



気づけなかったことに気がつけるようになった。

ここに参加する前と比べて、上司から、「あなた、最近言うことが変わってきたよ」って言ってもらえた。

2016年度 入門の入門コースメンバー

上司に言われてきた。もっと、発達のことをみっちり勉強するのかと思っていたけど、そうじゃなかった。でも、とにかく、自分の中に知識ではない何かが増えた。言葉ではいえないけど、何か自分の中に増えたのがわかる。とにかく…。土台と言うか、核と言うか…。

発達を科学的に学ぶことで、職場内で、共通言語を持てることがわかった。今、自分は実践記録を書こうとして、書けないでいる。それは、自分の中に根拠がもてていないことに気がついた。もっと、勉強したいと、感じている。

自分には引き出しが少ないと悩んでいたけど、ここで、“私が大切にすべきと思っていることは間違っていない”と確認できた。

きてよかった。

利用者さんのパニックの理由かわからなくて、その人の担当になる日は正直、構えていた。でも、多面的理解と言う話を聞いて、いろいろ考えて“コレが理由かも”ってわかるようになった。そしたら、その人の担当になる日が楽しみになった。